

平成28年度  
中央区の  
歴史と文化を活かした  
生涯学習

「わくわく  
子ども寄席体験」

ゆめまるごとわんぱく

# 親子で 落語家と 遊ぼう!!

落語家体験や寄席太鼓、曲芸体験など、  
ワクワク、ドキドキのイベントです。  
落語家や太神楽曲芸師とふれあって、  
親子でいっしょに楽しい時間を過ごしましょう。  
中央区と芸能の歴史のお話を聞いたり、  
資料をもらって夏休みの自由研究もバッチリ!

桂福丸

桂雀輝

三味線  
はやしや福

囃しの鼓

豊家板里

平成28年

8月1日

日時

10:30~12:00 (10:00 開場)

会場 中央会館ホール

(中央区島之内2-12-31)

無料

対象・定員 小学生と保護者 50 組  
(大人1人に同伴の子どもは3人まで)  
※きょうだいの場合は未就学児同伴も可

応募方法 WEBの専用応募ページが往復はがきの  
どちらかで申し込んでください。

WEBから  
申込



こちらのページにアクセスして、  
応募フォームに  
必要事項を記入してください。  
<http://al-form.tank.jp/chuoku/>

往復  
はがき  
で申込

[8/1 親子で落語家と遊ぼう!! 参加希望]と明記して、  
①参加小学生の名前・学校名・学年  
②保護者の住所(〒)・名前・日中連絡のつく電話番号  
③同伴未就学児の名前・年齢を必ず記入してください。

この事業はサテライト  
大阪環境整備協力費で  
実施しています。

申込み・問合せ先

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北2-25-タキガワビル404  
オフィス・オルタナティブ「親子で落語家と遊ぼう」係

Tel:06-6940-0666 (平日10時~18時)

申込締切

7月20日(水)必着

WEBでお申込みの方へはメールで、往復はがきでお申込みの方へは返信はがきで抽選結果をお知らせします。

## 出演者



かつら ふくまる

### 桂福丸 落語家

灘高在学中から舞台関係の仕事を目指し、京都大学卒業後、英語落語でアメリカ公演も行う。2007年、4代目桂福団治に入門。「福丸」の名付け親は作家の藤本義一氏。入門後1か月という異例の早さで初舞台の後、天満天神繁昌亭ほか各地の落語会に出演。2013年からクラシック音楽と落語を組み合わせさせた「寄席クラシックス」を企画するなど多彩に活動中。2014年に自身の体験を基に出版した『怒られ力〜新社会人は打たれてナンボ!』(明治書院)は大手企業で新人研修に活用されている。



### ほうらいや ばんり だいかぐらきょくげい 豊来家板里 太神楽曲芸

1987年、フジオサムに弟子入りしパントマイムの修行を始め、その後、サーカス基本訓練やジャグリング(曲芸)に磨きをかける。2002年ユニバーサルスタジオジャパンの初代日本人パレードジャグラーとなるなど、パフォーマー揚野バンリとして活躍する一方で、2006年からラッキー幸治の下で、400年以上の歴史をもつ伝統芸能・太神楽曲芸の修行を始める。豊来家一門の曲芸師としても多数の技を極め、道頓堀角座、天満天神繁昌亭などの寄席にて活躍中。

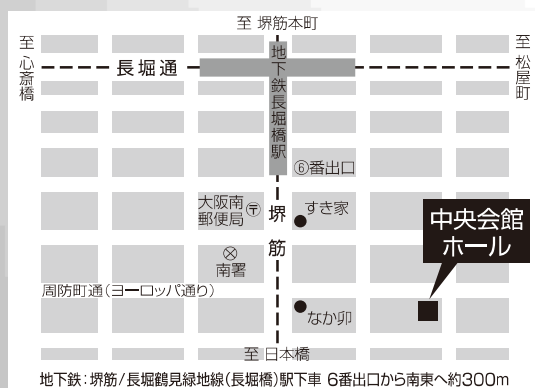
かつら よねき

### 桂米輝(桂米団治一門)太鼓・笛担当

つゆ みずほ

### 露の瑞(露の都一門)太鼓担当

### はやしや福 三味線



## 会場

### 中央会館ホール

中央区島之内2-12-31  
TEL:06-6211-0630

## プログラム

### ①落語とは?

落語ってどんなもの? 一人でやるの? どんなものを使うの? など落語についてのお話を聞いた後、実際に落語の実演を見ます。

### ②落語家体験

落語に出てくる、食べ物を食べるマネや、舞台上の高座に上るなどの体験をします。

### ③寄席囃子って何?

どんな楽器を使うの? どんな時に音を出すの? など寄席囃子についてお話を聞きます。

### ④寄席囃子体験

子どもたちが太鼓をたたき体験をします。

### ⑤太神楽曲芸って何?

太神楽ってどんなことをするの? もともとはどんな時に演じられたの? など太神楽についてのお話を聞いた後、太神楽曲芸の実演を見ます。

### ⑥バランス体験

曲芸の基本である、バランスをとる体験を新聞紙を使って子どもたちが体験します。

### ⑦もう一度落語を見よう

最後にもう一席落語の実演を見ます。

※プログラム終了後、  
希望者に自由体験の時間を設けます。

### 太神楽(だいかぐら)とは?

太神楽は、伊勢神宮、熱田神宮などのお祓いや祈祷といった神事を発祥として、江戸時代に成立した伝統芸能です。江戸時代末期には寄席の人気の高まりとともに、それまで大道で行われていた太神楽も寄席で演じられるようになりました。太神楽の芸は、「舞」(獅子舞など)「曲芸」(鞠・傘・茶碗・皿などを使う曲芸)「話芸」(滑稽ばなし)「鳴り物」(祭囃子など)の4つに分類され、現在は、技を見せる曲芸を中心に演じられています。

### 寄席囃子とは?

寄席で使われるお囃子には太鼓、三味線、笛、鉦(かね)などがあります。寄席の開場時、開演時、仲入り、終演時などに太鼓が鳴らされます。太鼓を打つのは落語家が担当します。落語家が高座に上がる時に流れる音楽が出囃子。落語家によって曲が異なります。寄席では、お囃子の女性が舞台袖で三味線を演奏しています。

上方落語には三味線や鳴り物が入る「ハメモノ入り」の落語が多くあります。派手で陽気な演出を好む上方の観客の好みに合わせて生まれた演出です。

### 申込み・問合せ先

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北2-25-タキガワビル404 オフィス・オルタナティブ「親子で落語家と遊ぼう」係  
Tel:06-6940-0666(平日10時~18時) Fax:06-6585-0689 E-mail:al-works01@co.email.ne.jp